

令和7年第5回伯耆町議会定例会

一般質問通告書

令和7年12月5日該当日

目 次

1. 大床 桂介 議員 (4 番)	2
2. 長谷川 満 議員 (7 番)	3
3. 永井 欣也 議員 (1 2 番)	4
4. 渡部 勇 議員 (1 0 番)	6
5. 杉本 大介 議員 (8 番)	7
6. 其山 守美 議員 (2 番)	9
7. 森下 克彦 議員 (6 番)	1 1
8. 乾 裕 議員 (9 番)	1 2
9. 埴田 信二 議員 (1 番)	1 3

1. 大床 桂介 議員（4 番）

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 福祉施策の今後について	<p>現代は少子高齢化・人口減少・コミュニティーの希薄化など、日本の社会構造の変化による引きこもり、8050 問題、ダブルケア、ヤングケアラーなど複雑な問題が引き起こされている。その中で、行政の役割はとても重い。</p> <p>国は令和 3 年 4 月から地域共生社会に関する新たな取り組みとして重層的支援体制整備事業（社会福祉法第 106 条の 4）を開始した。</p> <p>（１）本町では複雑な課題を抱えた方に対する課題解決に対して十分取り組んでいるかどうか町長の見解を伺う。</p> <p>（２）現在、複雑な課題を抱えている世帯に対する支援について、どのような流れで課題解決を図っているか。また、アウトリーチ支援の具体的な取り組みについても伺う。</p> <p>（３）現在、重層的支援体制整備事業における支援会議、重層的支援会議に相当する会議は実施されているか。</p> <p>（４）鳥取県西部圏域において重層的支援体制整備事業を実施あるいは準備している市町村はどこか。</p> <p>（５）関連する福祉事業の交付金も柔軟に使用可能となる重層的支援体制整備事業を導入し、体制整備に取り組まないか。</p>	町 長

2. 長谷川 満 議員（7番）

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 新内閣による町行政への影響と、ビジョンは	<p>高市内閣発足で、憲政史上初の女性総理誕生となるなど、「決断と前進の内閣」として国民へリーダーシップを力強く発信できていると感じている。</p> <p>国としての経済対策を加速させ、今後の地方創生に向けた動向も大いに期待をしたいが、新内閣による伯耆町政への影響と今後の町のビジョンについて問う。</p> <p>(1) 全体的な政治の動きとしての感想は。</p> <p>(2) 第4次総合計画の原案の提示時期だが、影響を受けている点、またリンクする点、独自で打ち立てた新規課題などがあるか。</p> <p>(3) 本町の次期予算編成と、今後の展望に向け、機構改革なども行うと聞くが重点ポイントは。</p>	町 長
2. 「お酒のまち 伯耆町」のPR施策は	<p>大山の麓で様々な美味しいを作り出す「水」が良いのは周知の事実であるが、同様に「お酒」が代名詞になっており、伯耆町の産業を牽引している。日本酒、クラフトビール、どぶろく、ワインなど、実に豊富な種類が製造され、いずれも高評価を受けている。町行政としての今後の関わり方について問う。</p> <p>(1) 地域資源の産業振興、ブランド力の向上、観光PR施策の一環として、「乾杯条例」制定を検討できないか。</p> <p>(2) 産業としての持続化を視野に入れた「農泊」や関係人口創出にまつわるお酒イベントの企画、また、宿泊観光との連携、ふるさと納税などの特産品セットの造成など、行政で後押しできることはないか。</p>	町 長

3. 永井 欣也 議員（12番）

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 水道事業並びに地下水の保全について	<p>9月定例会では、森林が水源かん養や山地災害の防止など多面的な機能を持ち、私たちの生活に密着した非常に重要な役割を担っていることについて一般質問を行った。</p> <p>今般は、町民の生活に欠かせないインフラの一つである水道事業の収支均衡を図りながらの安定供給並びにかけがえのない資源である地下水利用の現況等について町長に伺う。</p> <p>(1) 本町の水道事業については、平成31年度に策定された「伯耆町水道事業経営戦略」に基づき、見直しも行いながら経営されている。コロナ対策や物価高騰対策での基本料金減免など緊急的な対応を行い、多くの町民に評価された。しかしながら、令和6年度の決算では資金繰りが依然厳しいこと、一般会計からの繰入に依存傾向であることなどが指摘されている。管路更新や水源の確保など本町水道事業の現況、収支構造の改善を含めたこれからの取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 今夏のような渇水の長期化が繰り返されることで、将来的に地下水源に影響が及ぶ懸念を持つ。本町には地下水利用の現状把握及び乱開発の防止を図り、地下水源を保護するという「伯耆町地下水保全条例」が制定されている。この条例の適用を受ける採取者の年間採取量をはじめ、町内の水源採取量及び年間採水量はいくらか。</p> <p>(3) 伯耆町地下水保全審議会が設置されているが、具体的にはどのような事項を審議しているのか伺う。</p> <p>(4) 本条例の附則2(検討)で、平成28年度末を目途として検討を加え、必要な措置を講ずるとあるが、何か検討されたのか伺う。</p>	町 長

2. 図書館のさらなる利用促進について	<p>本町には溝口図書館、岸本図書館の2館がある。第2次伯耆町教育振興基本計画の中での取組方針では図書館の利用促進と読書活動の推進を掲げている。</p> <p>それぞれの図書館が、幅広い年代のニーズに応えるだけでなく、親しみやすく開放的な施設として多種多様なサービスを提供し、町民の生涯学習の意欲向上を支援するとともに、文化拠点としての役割を果たすとしている。</p> <p>また、「令和6年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」では、図書館振興事業は、継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上という評価をしている。</p> <p>(1)改めて本町の教育振興基本計画における町立図書館の位置づけなどについて教育長の考えを伺う。</p> <p>(2)両図書館(全町)の登録者数は令和6年度末で5,745人と年々増えているが、貸出冊数は両館とも、ここ3年減少が続いている。因みに、</p> <table><tr><td></td><td>令和6年</td><td>5年</td><td>4年</td></tr><tr><td>溝口</td><td>31,529冊</td><td>33,804冊</td><td>34,071冊</td></tr><tr><td>岸本</td><td>63,484冊</td><td>65,668冊</td><td>66,784冊</td></tr></table> <p>である。図書購入についても、ここ3年では岸本の5年度を除き減冊である。これらの要因を伺う。</p> <p>(3)ここ3年の貸出密度の状況を伺う。</p> <p>(4)読書活動は脳の働きに大きく好影響を及ぼし、特に子どもや高齢者にその影響が顕著に表れるとことならば、さらなる広報の充実や関連部署との連携を深め、利用促進を図るべきと考えるが、教育長の考えを伺う。</p>		令和6年	5年	4年	溝口	31,529冊	33,804冊	34,071冊	岸本	63,484冊	65,668冊	66,784冊	教 育 長
	令和6年	5年	4年											
溝口	31,529冊	33,804冊	34,071冊											
岸本	63,484冊	65,668冊	66,784冊											

4. 渡部 勇 議員（１０番）

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1.町行政のトップリーダーとして町長の決断とは	<p>町長は、決断を伴う仕事である。就任してから約一年になるが、この９月には大きな決断をされ、また今年度はまち未来ミーティングなどを開催され町民の声を聴かれた。そこで、来年度予算・機構改革について聞く。</p> <p>(１) 来年度予算は初めての予算編成になると考える。これまで多くの町民の声を聴き、なにか予算編成に影響・反映することはあるか。</p> <p>(２) 町長が考える「４つの投資」とあるが、重点施策はなにか。</p> <p>(３) 町行政の機構改革の目的はなにか。</p> <p>(４) 具体的に組織(各課)の統廃合はあるか。</p> <p>(５) 各課業務分担の見直し・改善する取り組みの具体策はなにか。</p>	町 長
2.第２次伯耆町教育振興基本計画(令和３年度～令和１２年度)について	<p>施策及び取り組み方針は、令和７年度に総合的な点検を行い、必要に応じて後期５年間に向けた見直しをするとある。教育振興基本計画にある学校教育について聞く。</p> <p>(１) 前期５年間において点検を行い、今後の５年間について、見直し、検討し、そして付け加える点があるか。</p> <p>(２) 2027年に告示されるといわれている次期学習指導要領のなかに、「柔軟な教育課程」という言葉が頻繁に使われていると聞く。この「柔軟な教育課程」とはなにか。</p> <p>(３) 総授業時数(1,015単位時間)を確保し、教科標準時数の扱いを柔軟にするとある。この単位時数はどの位の時数を考えるか。</p> <p>(４) 教師が柔軟に教育課程を編成し、指導を展開しやすくする。これによる教師への影響・負担はあるか。また、子ども達への影響はあるか。</p>	町 長 教 育 長

5. 杉本 大介 議員（8番）

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1.人口減少を受け入れ スマートシュリンク（賢く縮む）へ	<p>人口減少・高齢化・インフラ老朽化が進む中、従来の「人口減少に歯止めをかける」施策だけでなく、人口が減っても必要な生活機能を維持するための「スマートシュリンク（賢く縮む）」という考え方が注目されている。</p> <p>国でも、人口減少を前提とした適応策が示されており、本町の将来を考える上でも重要な視点と考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>（１）人口減少が避けられないという国全体の状況を踏まえ、国が示す“人口減少を前提とした適応策”や「スマートシュリンク」の考え方を、本町の行政運営においてどのように受け止めているか伺う。</p> <p>（２）公共施設・インフラの老朽化が進むなか、必要な機能はどこに集約し、どこを縮小・再編すべきかという視点は避けられない。</p> <p>本町として、公共施設の現状把握や中長期的な再編方針の検討状況を伺う。</p> <p>（３）人口減少下でも、住民の生活の質や地域力を維持することが重要である。</p> <p>住民の生活の質を維持・向上していく地域づくりを、どのように進める考えか伺う。</p>	町 長
2.防犯カメラ設置の積極的検討を	<p>昨年の12月定例会で、議員の一般質問に対して前町長は、「町全体で設置することについては、監視型社会に繋がるということで、住民の合意形成が難しい。ただ、状況は徐々に変わってきている。たとえば自衛手段として自治会単位での合意がなされ、そういった需要が出てくるようであれば単町の補助事業にメニューを加える検討もあり得る。」といった主旨の答弁をされた。</p> <p>（１）駅周辺、学校施設、保育施設、公共施設などについて、防犯カメラ設置の判断基準や考え方、また、集落単位での設置に対する補助についての考えを伺う。</p> <p>（２）抑止と事後検証という限定的な目的であれば、運用ルールを整備することで、プライバシーの配慮もクリアできるのではないかと考える。</p> <p>学校や保育所などと違い、放課後児童クラブは、普段の活動の様子などが、保護者からは非常に見</p>	町 長

	<p>えづらいものとなっている。</p> <p>保護者にとっての安心感のため、また、犯罪などの抑止力を高め、事後検証もしやすくするために、放課後児童クラブへの防犯カメラ設置を検討いただきたいが、その考えはあるか。</p>	
--	--	--

6. 其山 守美 議員（2番）

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 空き家の有効活用に向けた検討状況は	<p>人口減少を抑制し、移住・定住を促進していくためには、空き家の有効活用が不可欠であると考える。</p> <p>伯耆町の空き家対策は、「第2次伯耆町空家等対策計画」に基づいて進められている。現行の「空家等対策推進補助金」制度や「伯耆町版すまいの終活ナビ」などは、主に活用が困難な空き家への対応が中心である。</p> <p>一方、経過年数が短く管理状態の良い空き家の有効活用については、取組が十分に進んでいないのが現状である。</p> <p>6月議会で町長は、「移住・定住を支援する施策が必要で、その上で空き家を活用していくことも有効だと考える」と答弁している。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 空き家の有効活用や移住・定住促進に向けた総合的な施策の検討状況について。</p> <p>(2) 空き家の有効活用が進みにくい地域における、空き家バンク構築の準備状況について。</p> <p>(3) 空き家バンク運営に必要な移住定住コーディネーターの設置に向けた準備状況、および、県補助金等を活用した空き家修繕・家財道具処分費補助金の導入について。</p>	町 長
2. 学校教育施設の除草や除雪作業に公費を	<p>学校の教育環境を維持・管理していくためには、ボランティア頼みではなく、計画的に予算を確保して実施していく必要があると考える。</p> <p>学校教育施設の除草作業や除雪作業については、教職員や学校支援ボランティア等によって行われているのが現状である。</p> <p>しかし、敷地面積や植栽、外構の状況によって作業量は多く、負担が大きい。</p> <p>ボランティアではなく、予算をつけて環境維持作業を行っていくことが必要だと考える。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 学校教育施設（校舎・体育館裏、植栽、プール周辺等）の除草作業について、予算化できないか。</p> <p>(2) 学校教育施設（アプローチ、駐車スペース等）の除雪作業について、予算化できないか。</p>	教 育 長 町 長

<p>3. 高校生サークルの計画的な育成を</p>	<p>コロナ禍で途絶えていた高校生サークルが復活し、地域に根差した活動を始めている。協働のまちづくりを推進していくためにも、高校生サークルの計画的な育成が必要と考える。</p> <p>7月実施のまちづくりアンケートでは、中学生の約6割が伯耆町に愛着を持ち、約7割が将来も伯耆町に住み続けたいと回答している。これは、教育委員会による「地域と連携した学校づくり」や「ふるさとキャリア教育」の成果と考える。</p> <p>一方で、中学生からは、地域との関わりや交流の場を求める声も多く、「なかよしボランティアクラブ」も誕生し、地域貢献活動が実を結んできている。高校生においても、高校生サークルが復活し、商工会との連携や地域イベントへの参加など、地域に根差した活動を始めた。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 高校生サークル「ブルーム」の設立経緯、現在の活動状況及び教育委員会の育成方針について。</p> <p>(2) 高校生サークルと中学生、青年団、地域団体等との連携の考え方について。</p> <p>(3) 高校生サークルや社会教育関係団体の育成に向け、社会教育主事など専門性のある人材の計画的養成についての考え方について。</p>	<p>教 育 長</p>
---------------------------	--	--------------

7. 森下 克彦 議員（6番）

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 教育費の負担軽減について	<p>諸物価高騰の中、町民の暮らしが大変になっており、早急な生活支援対策が必要と考える。</p> <p>対策の一案として、義務教育中の子弟にかかる教育費の負担軽減を行うことを検討してはどうか。</p> <p>小学校及び中学校教育事業において必要となる教材、消耗品費の保護者負担額の軽減措置を行われたい。</p> <p>2024年度の保護者負担額は、年間一人当たり2～3万円、総額約1,900万円となっている。</p>	教 育 長
2. 気候危機対策について	<p>豪雨、猛暑などの異常気象による悪影響がある中、「国連・気候変動に関する政府間パネル」報告を受け、日本では、本年9月末時点で、46都道府県、22特別区、1,120市町村の計1,188自治体が「2050年に二酸化炭素排出ゼロ（2050年ゼロカーボン）」表明を行っている。</p> <p>本町においても二酸化炭素排出ゼロ表明を行い、気候危機打開のための施策を行うべきと考えるがいかがか。</p>	町 長
3. 多文化共生社会の確立について	<p>少子化の影響を受けて、近年、労働力を外国人に求めるなどにより、在日外国人が増加しており、一層の多文化共生社会の確立が必要であるが、今夏の参院選では、「外国人は、生活保護等で優遇されている。」などの主張がなされ、外国人に対する不当な言動や差別、排外主義の広がりが見られる。</p> <p>排外主義の主張が広がる中、これを否定し、多文化共生社会の確立が必要と考えるが、自治体行政の長である町長の見解を伺う。</p>	町 長

8. 乾 裕 議員（9番）

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. クマ対策について	<p>全国でクマによる人的被害が相次いでいる。政府の発表では被害にあった人は9月末時点で86人。直近では13人の方が犠牲となり亡くなった。過去最高だった2023年の6人の2倍以上に達している。季節は12月に入った。クマの冬眠は一般的に11月下旬から12月ごろから始まり3月または5月ごろまで続くとされているが、個体差や生息地の環境、周辺の食料状況によって変動する。11月5日日本町においてもクマの目撃情報があり防災無線等で注意喚起があった。クマと遭遇する可能性はゼロではない。</p> <p>(1) 学校など教育施設等における児童生徒等の安全対策について教育長に伺う。</p> <p>(2) クマと遭遇した場合の対処方法の町民への周知の徹底について伺う。</p> <p>(3) クマの駆除等に関するマニュアルの作成状況について伺う。</p>	<p>教 育 長 町 長 〃</p>

9. 埴田 信二 議員（1番）

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 投票立会人の負担軽減に向けた取組を	<p>伯耆町では、選挙の際に投票立会人の選任を各集落に依頼している。</p> <p>しかし、投票日当日は午前7時から午後7時まで、12時間にわたって立ち会う必要があり、特に高齢の方にとっては大きな負担となっている。</p> <p>近年では、「長時間すぎて引き受け手が見つからない」「せめて半日ずつ交代できればありがたい」といった声も各集落から聞かれている。</p> <p>実際、近隣の自治体では、立会人を交代制にして負担軽減を図る例も見られる。</p> <p>そこで今回は、立会人の確保と負担軽減の両立について、本町の考えを伺う。</p> <p>(1) 投票立会人の担い手不足について、町長の見解を伺う。</p> <p>(2) 近隣自治体における投票立会人の体制や、負担軽減に向けた取組状況について把握しているか伺う。</p> <p>(3) 伯耆町における立会人の確保状況と、町として認識している課題について伺う。</p> <p>(4) 住民や集落などから、立会人の交代制導入を求める意見や要望が寄せられているか伺う。</p> <p>(5) 今後、立会人の負担軽減や確保を図るために、交代制の導入などを含めて検討する考えがあるか伺う。</p>	町 長
2. ちびっこ広場に屋根付き休憩所の設置を	<p>伯耆町総合スポーツ公園は、町民の健康増進や交流の拠点として重要な施設であり、その中でも「ちびっこ広場」は休日に多くの家族連れで賑わう人気の場所である。</p> <p>しかし、夏場は直射日光を避ける場所がほとんどなく、子どもや保護者が長時間滞在するのが難しい状況が見受けられる。利用者からは「暑さで遊ばせづらい」「日陰がなくて休憩できない」といった声も寄せられている。</p> <p>近年の猛暑や熱中症のリスクを考えると、日陰や休憩スペースの確保は安全対策の観点からも不可欠である。特に、町内外の保育所や小学校の遠足など団体利用も多いことから、個人利用だけでなく大人数にも対応できる大型の屋根付き休憩所の設置は、町民の安心・安全を守るとともに、施設の利用促進や町の魅力向上にもつながると考える。</p>	教 育 長 町 長

	<p>(1) 伯耆町総合スポーツ公園ちびっこ広場における夏場の暑さ対策や日陰の確保について、町としてどのように認識しているか。</p> <p>(2) 団体利用も見据えた大型の屋根付き休憩所を、今後の公園整備計画の中で具体的に設置検討する考えはあるか。</p>	
--	---	--